



んだじゅ通信

山形県立新庄病院 地域医療部

〒996-0025 新庄市若葉町12番55号

TEL 0233-22-5525 (代表)

FAX 0233-28-7277 (直通)

平成29年9月発行

- Vol.13 -



新庄病院では SNS を活用した情報発信を行なっております。

LINE@

新庄病院公式 LINE@アカウント



LINEアプリのメニュー「友だち追加」→「QRコード」を選択、上記のQRコードを読み取り登録、をしてください。または、「ID検索」を利用して下記IDを入力、検索して登録をしてください。

LINE ID: @shinjohp

facebook.

新庄病院公式フェイスブックページ



スマートフォンで上記の QR コードを読み取り新庄病院 Facebook ページへアクセスして「いいね」をしてください。

新庄病院 

 fb.com/shinjo.hp

twitter

新庄病院公式ツイッターアカウント



スマートフォンで上記の QR コードを読み取り新庄病院ツイッターページへアクセスして「フォロー」をしてください。

新庄病院 

 @shinjo_hospital

ブログ更新中 

初期臨床研修医募集

山形県立新庄病院採用サイト

新庄 研修医募集 

当院での研修プログラムやカリキュラム、初期臨床研修医募集要項などスマートフォンにて詳しくご覧いただけます。左記QRコードを読み込みサイトへアクセスしてください。



免責事項 山形県立新庄病院は、利用者が当アカウント上に掲載されている情報を用いたことにより、利用者または第三者が被った損害について、いかなる場合でも一切の責任を負いません。山形県立新庄病院は、利用者間もしくは利用者と第三者間のトラブルにより、利用者または第三者に生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いません。上記の他、山形県立新庄病院は当アカウントに関連して生じる損害について、一切の責任を負いません。



第3回
9/10

「新庄病院健康まつり」を開催しました

「仁、愛、和」病院まつりでつながろう！～私たちの地域と未来～

去る9月10日（日）に「第3回新庄病院健康まつり」を開催いたしました。地域に根差し、地域の皆さまに安心と信頼の医療を提供する病院として今回掲げたテーマは「病院まつりでつながろう！私たちの地域と未来」です。病気やその予防、病院の多様な仕事、救急隊や警察など多くの関係機関との連携等について、来場された方々に知っていただけるよう様々な体験展示等を行いました。

当日は、途中、雨に降られたにもかかわらず、入場者は約 200 人と昨年の入場者数を超えることができました。特に体験型のブースが人気だったようです。病院まつりを成功させることができたのは、病院スタッフだけでなく、外部の皆さまの協力があったからこそです。オープニングで太鼓演奏をしていただいた日新小学校様。白バイ・パトカー展示と交通安全の啓蒙をしていただいた新庄警察署様。消防車・救急車展示と心肺蘇生法の指導をしていただいた最上広域消防本部様。まちの保健室を運営していただいた県看護協会最北支部様。栄養相談でご協力いただいた県立米沢栄養大学様。読み聞かせをしていただいた「とらいあ」様。各種啓蒙活動をしていただいた「臓器移植ネットワーク」様、「私たちとお医者さんを守る最上の会」様。未来の病院像を描いてくださった日新中、金山中、八向中、真室川中、萩野学園、新庄中、鮭川中の生徒の皆さん。本当にありがとうございました。来年の第4回新庄病院健康まつりもご期待ください。





第27回 山形県緩和医療研究会のご案内

高齢化社会の到来と慢性疾患患者の増大に伴い、医療機関のほか自宅や特別養護老人施設での看取り等、地域における患者とその家族の生活に合わせた終末期ケア体制を確立する必要性など、そのケアのあり方が模索されています。

この度、山形県の医療現場でもご活躍された経歴をお持ちで、緩和ケアに長年従事され、2014年より人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトの企画に尽力されている「めぐみ在宅クリニック」の小澤竹俊先生をお招きし、「エンドオブライフ・ケア」についてご講演いただきます。

エンドオブライフ・ケアとは、「病や老いなどにより、人が人生を終える時期に必要なとされるケア」であり、治療・療養の場を問わず「生が終わる時まで最善の生を生きることができるように支援すること」を地域の専門職が連携し、患者と家族にとって最善の選択ができるように取り組んでいく必要があります。

住み慣れた場所で最後まで過ごしたいと希望される方も増えてきていますが、支える側の私たちに何ができるか…今、求められているケアについて地域の皆様とともに学びを深めていければと思いますので、ぜひご参加ください。

開催日 平成29年9月30日(土) **時間** 13:00~16:30

場 所 : ニューグランドホテル 3階 末広の間
(新庄市若葉町4-23 TEL 0233-23-1111)

会 費 : 500円(当日会場にて)

対 象 : 緩和医療に携わる多職種の方々
(医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャーなど幅広くご参加ください。)

特別講演 14:55~16:25 座長:山形県立新庄病院 副院長 石山智敏

『住み慣れた地域で人生の最後まで過ごせる社会を目指して
~死を前にした人に あなたは何ができますか?~』

めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生

※参加ご希望の方は、なるべく事前のお申込みをお願いします。

※本会の前半は、会員による一般演題となっております。

一般の方は、「特別講演」のみの参加となりますのでご了承ください。

【申込み・問合せ先】 山形県立新庄病院 外来看護相談室 斉藤まで
TEL 0233-22-5525 (代) 内線 1302



地域の医療機関 - 医療法人 土田医院 -

『 医療は社会の共通資本 』

医療法人 土田医院
院長 土田 秀也



開業から現在まで…

早いもので開業して22年になります。開業当時、医院の付近は小桧室団地と公園があるだけで、西側は田んぼだけでした。前の道路は舗装もされておらず、“こんな町はずれに患者さんが来てくれるのか”と心配されました。これも何かの縁というものでしょうか。開業に際しては4つのコンセプトがありました。それは、①在宅医療、②土曜日の午後、日曜日の診療、③院外処方、④安価な医療です。①と②は、県立新庄病院勤務時代に寝たきりの患者さんが毎月鼻からの栄養チューブを交換するためだけに、片道1万5000円の民間の輸送車で家族2人がかりで来院されていたのと、土日の日直で多くの開業医が休診のため、軽症の患者さんを多く診療した経験からです。③と④は、くすりの管理などで神経を使いたくなかったことと、同じ効き目なら安い薬がいいだろうとゾロ品（ジェネリック）を導入しました。今では当たり前になりましたが、当時はメーカーや薬局の人に大変驚かれました。



当院の取り組みと地域医療に思うこと…

在宅医療では年間約60人の患者さんを看取ります。この20年間では、自宅での看取りが減り、施設での看取りが多くなっています。当初は点滴が外れただけで、夜中に呼ばれたり、家族で出かけるのを中止することもありましたが、今では当院の看護師が交代で携帯電話を持ち、訪問看護ステーションや薬剤師、施設との他職種連携も進みかなり楽をさせていただいております。患者さんの経済的負担の点からは、比較的若くして癌になられた方は収入が途絶えるのに加え、麻薬などの薬代も高額なため、3割負担ではあまりにも負担が重く、せめて最期まで在宅で過ごされる方については年齢にかかわらず1割負担にすべきと思います。

胃内視鏡検査についてですが、鼻からの内視鏡のため口からよりは抵抗がなくなると喜ばれます。胃がんは慢性胃炎から発生しますが、慢性胃炎と初期のがんは区別しにくいことがあるため、慢性胃炎の方は年1回の内視鏡検査をお勧めします。大腸内視鏡検査ですが、最近になって当日の処置のみで腸管がきれいになる方法を取り入れたため、空腹感や夜中の腹痛がなくなりました。検診の便鮮血検査で異常がなくとも、進行した癌が見つかることもあり、大腸がん検診だけでは早期発見には限界があるように思います。



20年前と比べて、中高生や仕事に就いた若い人で不眠や不安を訴えて訪れる人が多くなりました。陰湿ないじめやブラック企業などの外的要因はもちろんありますが、ストレスに対する脆弱性という本人の内的要因も大きく影響しています。その原因としては、乳幼児からインターネットやスマホなどにさらされ、これらは0と1の数字の単なる繰り返しであり、脳の発達にとってはむしろ障害となっていると考えられます。人間対人間、人間対自然など自分を取り巻く外界と直接かかわって、そこから自分自身で考えようとする興味のもち方、とりわけ子供にはこうした直接的経験が脳に及ぼす影響こそが大切なのです。

自発的に問題意識が生まれる人間を育てることは社会の責任です。



お知らせしたいこと・・・

在宅医、認知症サポート医としてお知らせしたいことが2点あります。

①認知症で障害者手帳の取得を。

認知症の家族がいて、精神障害者保健福祉手帳を取得することによって、各種税金の負担軽減、公共料金の割引などを受けられる可能性があります。手帳が取れるかどうかは、日常生活に支障が出ているかどうかです。診断書は専門医でなくてもかかりつけ医が書けます。在宅か施設かは関係なく申請できます。

②寝たきり状態の方は生命保険が下ります。

1,000万円の生命保険に加入していた人が経済的に困って、保険を解約して250万円をもらいました。とても気の毒なことです。何故なら、寝たきり状態の診断書を提出すれば、死亡時と同額の1,000万を受け取ることができたのです。

(生命保険の種類により異なります。詳しくは、加入の保険会社にご確認ください。)

最後に、公共資本は文字どおり公共の財産であり、個人が勝手に自由にすることはできません。医療はどうでしょうか。医療は地域の人々の健康や生命を守るという使命があり、社会の共通資本と考えられています。何を為すべきなのか、何をすべきではないのか。私たちが決して忘れてはならないことです。



投稿募集中！



「んだじゅ通信」では、地域の医療機関や福祉施設等からの投稿を募集しております。

日頃の取組み、施設情報、お知らせしたいこと等ありましたら、新庄病院 地域医療部までご連絡ください。発行は、年3回程度を予定しております。





第12回「新庄病院災害対策総合訓練」を実施します

新庄病院の災害訓練はこれまで11回を重ね秋の風物詩のひとつになっています。

中越地震の震度7で災害が架空の出来事ではなくなり、羽越線脱線転覆事故で遠くの出来事でもなくなり、新庄病院で災害訓練を始めました。その後、中越沖地震で原発問題が出始め、岩手・宮城内陸地震では最上地域の住民も犠牲になりました。そして東日本大震災発生で、災害はもはや他人事ではないと多くの方が認識するようになったのではないのでしょうか。



(写真) H28 災害対策総合訓練風景

昨年度、新庄病院では事業継続計画（地震対策編）を策定しました。今年度はP D C Aサイクルの一環として、災害対策本部活動の機能強化に向けて、本部体制の見直しも含め現在検討中です。新病院にはきっと、災害対応もしやすい構造と運用を盛り込めると思いますが、現状としては職員の医療従事者としての責任感に大きく依存しているのが現実です。

今でも、「最上は災害がなくていいところだね。」との声が院内外から聞こえてきます。確かにいいところですが、たとえ何かとんでもないことが発生したとしても、そうあり続けられるように、医療面から最上地域を支えるのが災害拠点病院である当院の任務の一つです。今年も災害訓練を行いますので、ぜひ見に来てご意見をください。



(写真) H28 災害対策総合訓練風景



(写真) H29 災害訓練研修会風景

開催のご案内

【日時】

平成29年11月11日(土)
午前8時30分～(予定)

【場所】県立新庄病院内

【問合せ先】

県立新庄病院総務課
TEL 0233-22-5525(代)
内線 1287 松田



シリーズ ☆ 栄養レシピ

病院食の紹介 — 栄養管理室 —

おいしい「塩分コントロール食」

今年度の“シリーズ栄養レシピ”では、当院に入院されている患者さんに提供しているお食事を紹介しています。2回目は、「塩分コントロール食」です。

塩分1日6グラム未満という数字は、高血圧症、心臓病、腎臓病など、各疾患の治療ガイドラインで治療食の基準とされています。(以下、グラム数は塩分)

新庄病院の『塩分コントロール食』の献立の一例です！

朝食



- ★みそ汁はだしが効いた人気メニューです。盛りつけ量を控えることで味をほどよく感じます。
- ★卵は少量の味付けでも塩分を強く感じる素材のため、ケチャップの酸味を活かします。
- ★大根は小さく切ることによって表面積を大きくし、少量の油で炒りつけ、香ばしさと味を表面につけ満足感が得られるようにしています。

昼食



- ★塩処理していない魚を焼き、表面に味をつけ照り焼きにする。
- ★冷や汁(少量のホタテ貝柱と干しシイタケ、油揚げを混ぜたおひたし)は、味の出る素材同士の相性が良くうまみができます。
- ★レンコンの梅肉和えは、ねり梅を少量使うことで彩りもきれいで食欲をそそります。

夕食



- ★サラダはマヨネーズのこくを活かしています。
- ★おひたしは、鰹節のうまみで醤油を少量に抑えています。

食材を選ぶとき、料理をするとき、食べるとき、それぞれ意識していくことで6g未満を達成し、健康的に過ごしていきたいものです。

塩分 6g





新庄病院インフォメーション

*** がん患者サロンのご案内 ***

「がん患者サロン」は、がん患者さんやご家族の方々が抱えている不安や悩み、病気を通して経験したことなどを語り合い交流できる場として開催しています。ミニミニ講演会なども予定しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

[場 所] 相談室 (正面玄関右側)

[時 間] 13時～15時 **参加は無料です**

日にち	テーマ
10/17 (火)	乳がん患者さんの集い
(開催予定月) 11、2、3月	がん治療とリハビリテーション がん治療中の食事の工夫 アピアランス(外見関連ケア)相談会

※途中入退室でもかまいません。

※講師の都合等により内容が変更になることもあります。

【お問合せ先】 医事経営相談課 (内線 1285) がん相談支援センター



～医療機関・歯科診療所・介護施設の皆さま～

医療情報ネットワーク 「もがみネット」のご紹介

▶ もがみネットとは

山形県立新庄病院の診療情報を患者さんの同意のもと、インターネットを利用して地域の医療機関等が利用できるため、新庄病院とかかりつけ医等との間で継続した診療が可能となるものです。

▶ 利用できる医療機関等

地域の診療所、病院、歯科診療所、介護施設（医師・歯科医師）が利用できます。

▶ 無料で利用できます

インターネットに接続できるパソコン(端末)のみ準備ください。専用端末である必要はありませんが、ウイルス対策等は必要です。

お申し込みや詳しく知りたい場合は、**最上地域医療連携推進協議会【事務局：最上保健所 TEL0233-29-1258】**までお問い合わせください。

